

(R3年度7月管内情報)

酪農家への後継牛支援

— 令和3年度乳用育成牛譲渡を開始 —

碓高原牧場では、府内の酪農家から後継牛となる乳牛（ホルスタイン種 2～8 か月齢、ジャージー種 11～15 か月齢）を導入後、和牛の受精卵を移植し、分娩予定の2か月前を目途に酪農家に譲渡する事業を行っています。

今回は、昨年春に導入したホルスタイン種 23 頭のうち、9月～11月に分娩予定の6頭が生産者の元へ帰りました。

当场では、全農哺育センターと連携した京都酪農牛づくり事業にも取り組み、府内での優秀な後継牛確保を支援するとともに、本事業で譲渡する乳牛が和牛子牛を分娩することで、府内産和牛子牛増産の一翼を担っています。



酪農家へ帰る乳牛たち

畜産センター 碓高原牧場